

令和8年度 第2回細谷小学校学校運営協議会議事録

全体進行:教頭

1 開 会

2 あいさつ

(1)会長あいさつ 川中子 源 PTA会長

授業参観への参加に対する謝辞が述べられた。また、夏休みを目前に控え、児童の学校生活を参観した感想を後ほど共有していただきたいこと、近年は熊など野生動物の出没もあり、地域全体で安全に留意しながら過ごしていくことの大切さについて話があった。

(2)校長あいさつ 松川 博美 校長

授業参観及び学校運営協議会への出席に対する謝辞が述べられた。今年度ここまでの教育活動は順調に進み、運動会や校外学習なども無事に実施できたこと、夏休みまでの期間も学習・生活のまとめを丁寧に行いたいことが報告された。

また、校庭の桜がクビアカツヤカミキリの被害を受けており、薬剤散布等の対策を講じたものの十分な効果が得られず、今後は伐採も視野に入れて市と協議している状況について説明があった。

3 協 議

【進行:会長】

(1)児童の学習・生活状況について

○授業参観のご意見・ご感想等(委員さんから)

委員から次のような感想・意見が出された。

- ・5、6年生の思春期講座では、妊婦体験や赤ちゃんの抱っこ体験など実践的な学習が行われており、命の大切さを学ぶ大変有意義な内容であった。
- ・英語の授業では、児童が英語で積極的に受け答えをしており、小学校段階から高いコミュニケーション力が育っていることに感心した。
- ・6年生の算数の授業を参観した。自分で考える時間やペア・グループ活動が適切に取り入れられ、児童が集中して主体的に学習していた。
- ・全体的に授業には落ち着いた雰囲気があり、児童が意欲的に学習に取り組んでいる様子が見られた。
- ・思春期講座は保護者にとっても大変参考になる内容であり、今後も継続してほしいとの意見があった。

(2)地域学校協働本部の準備について(坪山様、海老原様)

統括地域学校協働活動推進員より、令和9年4月設立予定の「石橋中学校区地域学校協働本部」の準備状況について説明があった。

【主な内容】

- ・地域学校協働本部は、地域と学校が連携・協働し、地域全体で子どもの成長を支える組織である。
- ・地域コーディネーターが学校と地域をつなぎ、学校運営協議会で協議された内容を協働活動へつなげる役割を担う。
- ・5～6月に中学校区5校を訪問し、現在学校を支援している団体や今後支援をお願いしたい活動等について聞き取りを実施した。
- ・今後は合同学校運営協議会で内容を確認し、地域団体・個人への説明・依頼を進め、年度内に組織体制を整え、令和9年4月の設立を目指す。

委員からは特段の質問はなく、今後も学校運営協議会として協力していくことを確認した。

(3)「地域学習への関わり方」
～「細谷学」をすすめるにあたって～ (校長・教頭)

校長より、現在実施している「細谷学」の内容について説明があった。

【現在実施している主な地域学習】

- 1年 昔遊び体験
- 2年 まちたんけん
- 3年 かんぴょう栽培
- 4年 地域防災学習
- 5年 SDGs 学習
- 6年 地域の歴史学習

その後、「地域学習に協力できる人材」「新たな教材」についてグループ協議を行った。

【主な意見】

- ・橋本地区に伝わる「太々神楽」は地域の貴重な伝統文化であり、地域学習教材として活用できる。
- ・子どもたちが神楽の舞や太鼓を体験できる機会を設けることも可能ではないか。
- ・細谷城跡や地域の歴史、防災に関する地域の変遷なども教材として活用できる。
- ・地域の歴史に詳しい方や長年地域活動に携わっている方から話を聞く機会を設けることも有効である。
- ・地域の自然や生態系、姿川の水害の歴史なども防災教育や地域理解につながる教材となる。

校長より、今回いただいた意見を今後の「細谷学」の年間計画づくりに生かしていくことが説明された。

4 事務連絡(教頭)

第2回親子奉仕作業について

- ・日時 令和8年8月29日(土)7:30～8:30
- ・作業内容 校庭の除草、低木の剪定、農園の草刈り
※学校運営協議会委員にも可能な範囲で協力を依頼した。

○質問・ご意見

①小中一貫教育の一環として実施している中学校訪問について、今年度の予定はあるのか。

回答:昨年度参加した児童は中学校生活への不安が軽減された様子であり、今年度も実施予定である。

②卒業式等で校歌斉唱の際に卒業生である来賓も立って歌いたいのだが。

回答:今後の計画で配慮していきたい。

5 閉 会